



川崎 町

個別施設計画(橋梁)



平成31年3月

川崎町役場 建設課

CONTENTS

1. 個別施設計画（橋梁）の目的	．．．．． 1 ページ
2. 個別施設計画（橋梁）の対象橋梁	．．．．． 2 ページ
3. 健全性の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針	．．．．． 3 ページ
4. 橋梁の長寿命化に係る費用の縮減に関する基本的な方針	．．．．． 4 ページ
5. 個別施設計画（橋梁）の流れ	．．．．． 5 ページ
6. 健全性の評価と劣化予測	．．．．． 6 ページ
7. 部材健全性の考え方	．．．．． 7 ページ
8. 管理区分の考え方	．．．．． 8 ページ
9. 管理水準の考え方	．．．．． 9 ページ
10. 措置優先順位の考え方	．．．．． 10 ページ
11. 橋梁の健全性評価一覧	．．．．． 13 ページ
12. 個別施設計画（橋梁）による効果	．．．．． 19 ページ
13. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等	．．．．． 20 ページ

1. 個別施設計画（橋梁）の目的

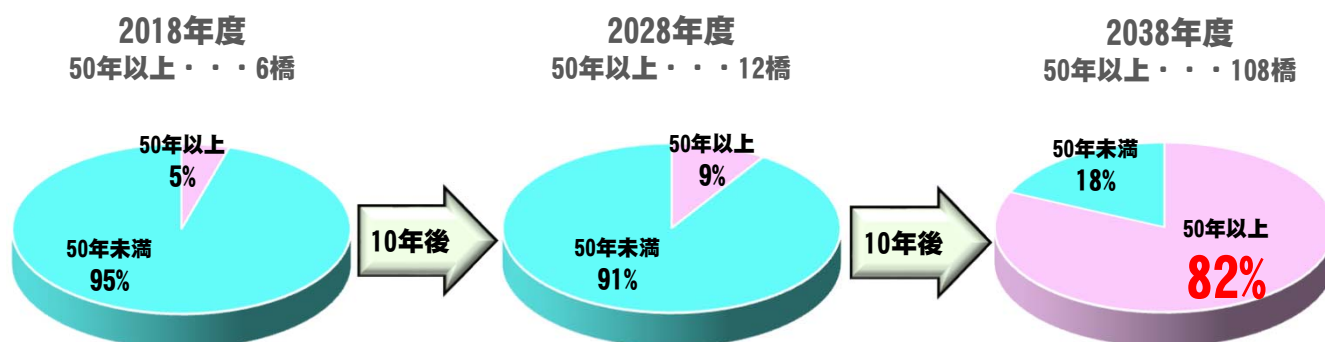
①背景

平成30年度現在、川崎町が管理する橋梁は、計132橋あります。

このうち建設後50年を経過する橋梁は、全体の5%を占めており、20年後の2038年には**82%に増加**すると予測されます。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、事後保全的な維持管理を適用すると、橋梁の修繕・架替に要する費用が急激に増大し修繕対応が困難になると予測されます。

そのため、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取組が不可欠です。



②目的

川崎町では、平成25年3月に橋梁長寿命化修繕計画が策定され、維持管理の手法を従来の「**事後保全型**」から「**予防保全型**」へ転換し限られた財源の中で効率的に修繕し、橋梁の寿命を延ばすことで、橋梁の健全性を向上させてきました。

今後も、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図る必要があるため、これまでの修繕対応の履歴を整理のうえ、個別施設計画（橋梁）を策定することとしました。

2. 個別施設計画（橋梁）の対象橋梁

◆対象橋梁

	一般国道	主要地方道	町道	合計
全管理橋梁数	0	0	132	132
うち計画の対象橋梁数	0	0	132	132
うちH24年度計画策定橋梁数	0	0	126	126
うちH30年度計画策定橋梁数	0	0	132	132
○個別施設計画（橋梁）の対象 川崎町が管理する全ての橋梁				

－ 真崎橋 －



－ 鮎返橋 －



－ 西田原橋 －



－ 永井村下橋 －



3. 健全性の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

（１）橋梁点検の徹底

①橋梁点検は、橋梁の立地条件等を十分に考慮し、定期点検、日常点検、臨時点検を組み合わせ実施します。

- ・定期点検：5年に1回実施
- ・日常点検：日常的なパトロールにより実施
- ・臨時点検：集中豪雨や大規模地震などによる自然災害の直後に実施

②橋梁点検は原則とし国土交通省の最新要領に準じて行う。また必要に応じて福岡県及び建設技術情報センターの要領を参考とします。

- ・橋梁定期点検要領 平成26年6月 国土交通省 道路局 国道・防災課
- ・橋梁定期点検要領 平成27年3月 福岡県 県土整備部 道路維持課
- ・管理者のための橋梁点検の手引き(案) H29.3 (財)福岡県建設技術情報センター

※ 部材毎の損傷や劣化の状況から橋梁毎の対策区分を判定する際は、「橋梁定期点検要領（付録）」の「損傷評価基準と対象区分判定基準」を参考とする。

③橋梁点検は定期点検および町職員による日常点検を基本とし、劣化や損傷が顕在化する前に機能を回復させる予防保全的な維持管理を行います。

（２）日常点検の徹底

①日常点検は可能な限り桁下からも行い、塗装の劣化やコンクリートのひび割れ等、新たな「劣化や損傷」の「箇所と内容」を早期に把握します。

②橋面排水口の目詰まりや橋座の土砂や鳥の糞の堆積等を発見した場合は、速やかに清掃するよう努めます。

（３）点検履歴および補修補強履歴の記録

①橋梁点検で得られる損傷等の情報は、劣化要因の推定や劣化進行の予測を行いつつ点検調書に記入し、記録として確実に残す。なお、「損傷なし」と「未調査」を混同することが無いよう記録する必要があります。

②補修、補強、耐震補強等の修繕工事を行う際は、併せて近接目視による点検も行い、修繕内容、修繕時期、工法の選定方法、工事記録等を記録として確実に残します。

（４）技術力の向上と伝承

①町職員の技術力向上を図るために、橋梁の劣化損傷特性、点検技術手法、対策工法の選定に関する「技術講習会」に適宜参加する。

②橋梁点検、工事の設計、工事の管理を通じ、ベテラン技術者から若手技術者へ技術の伝承を図ります。

4. 橋梁の長寿命化に係る費用の縮減に関する基本的な方針

- ▶個別施設計画（橋梁）に沿った計画的かつ予防保全的な維持管理を徹底することにより、全体的な事業費の大規模化および高コスト化を回避し、長期的な維持管理の縮減を図ります。

予防保全的

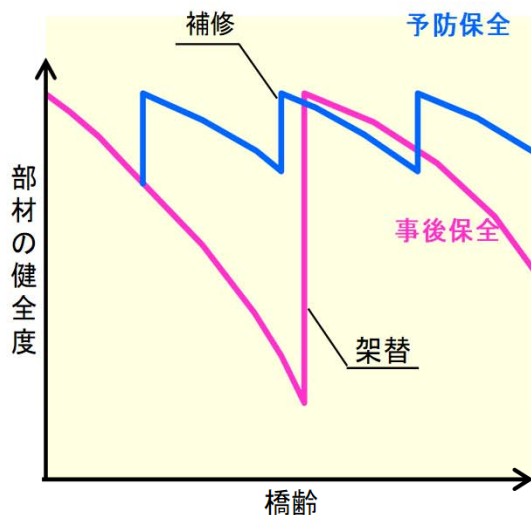
損傷が小さなうちに予防的な対策を行うため、橋梁の寿命が長くなり修繕費用を最小限に抑えられます。

事後保全的

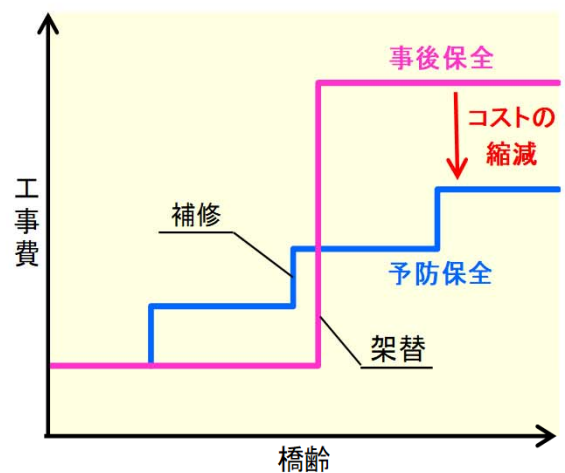
損傷が大きくなってから対策を行うため、工事規模が大きく多大な費用が発生します。

【個別施設計画（橋梁）のイメージ図】

修繕時期のイメージ



コスト削減のイメージ

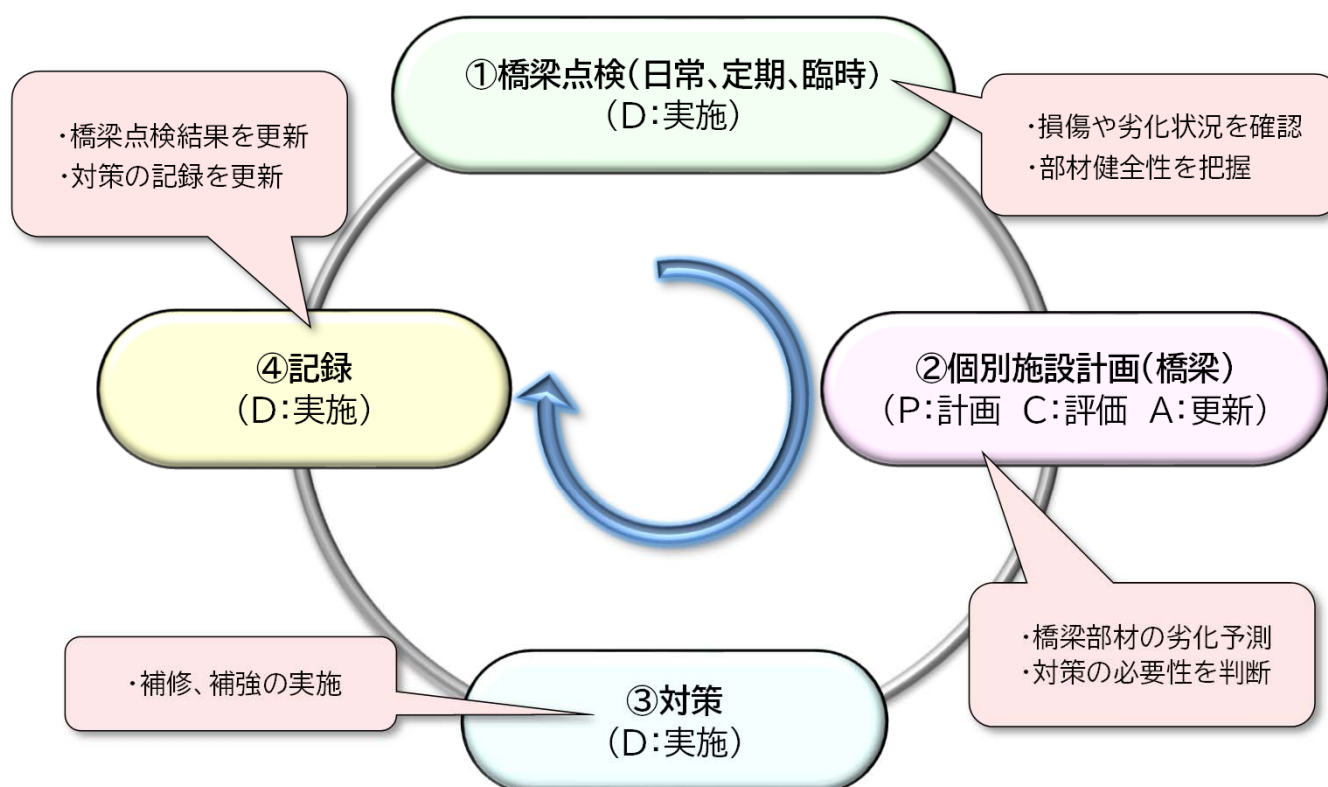


5. 個別施設計画（橋梁）の流れ

▶個別施設計画（橋梁）は、橋梁部材の損傷や劣化状況に合った適切な補修、補強等の修繕対策を実施できるよう、定期的に橋梁を点検し、実情にあった修繕計画の更新を行います。

①個別施設計画（橋梁）に合わせて橋梁点検を行います。 橋梁の損傷や劣化状況を確認し、部材の健全性を把握します。
②橋梁点検結果に基づき、橋梁部材の劣化予測を行いつつ対策の必要性を判断します。 判定結果を踏まえ、個別施設計画（橋梁）を策定・更新します。
③個別施設計画（橋梁）に合わせて補修や補強などの対策工事を 実施します。
④橋梁点検結果、補修・補強などの対策の記録を更新します。

【個別施設計画（橋梁）のサイクル】



6. 健全性の評価と劣化予測

- (1) 橋の健全性は、対策時期の指標として、劣化や損傷から、Ⅰ（予防保全段階）～Ⅳ（緊急措置段階）の4段階で評価します。
- (2) 橋の劣化予測は50年後に健全性Ⅳになると仮定します。

健全性の評価

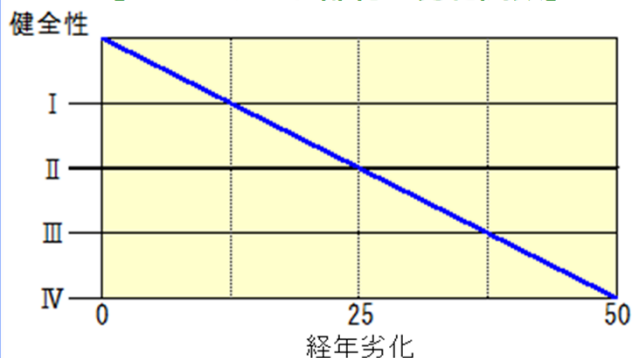
健全性の診断は、部材単位毎の健全性の診断結果を踏まえて主要部材に着目して最も著しい健全性の結果で代表します。

健全性		状態
健全 ↓ 劣化	Ⅰ 健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
	Ⅱ 予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずるのが望ましい状態
	Ⅲ 早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
	Ⅳ 緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、または生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

劣化予測

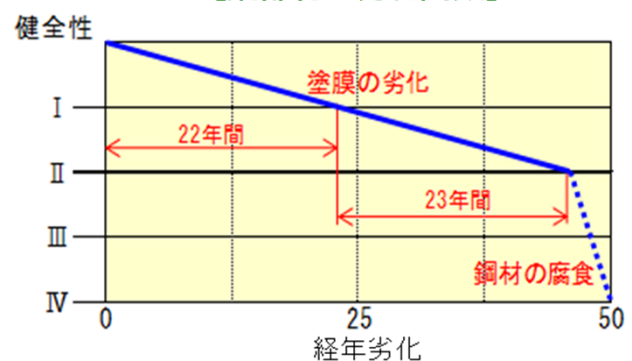
対策に係る費用の縮減効果を算定する場合は、橋の架替時期や補修時期を劣化関数で想定する必要があります。

【コンクリート部材の劣化関数】



50年後に健全性がⅣの下限に達すると仮定して直線の式で表します。

【鋼部材の劣化関数】



C5系フッ素樹脂塗料を想定し直線の式で表します。

7. 部材健全性の考え方

- ▶個別施設計画（橋梁）では、構成する部材の損傷や劣化の程度から「部材毎の健全性」を総合的に分析します。

I：健全

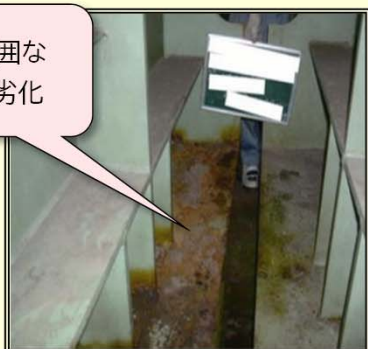
II：予防保全段階

III：早期処置段階

IV：緊急処置段階

【鋼部材の例（塗装劣化・鋼材腐食）】

【部材健全性Ⅱ】



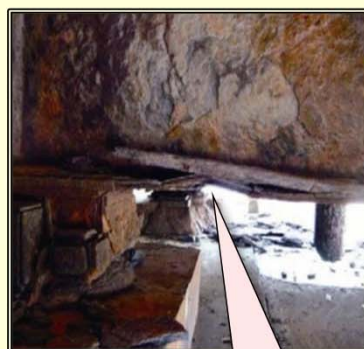
・広範囲な
塗膜劣化

【部材健全性Ⅲ】



・局所的な
板厚減少

【部材健全性Ⅳ】



・広範囲な
板厚減少

【コンクリート部材の例（床版ひびわれ）】

【部材健全性Ⅱ】



・格子状の
ひびわれ

【部材健全性Ⅲ】



・ひびわれの
緻密化

【部材健全性Ⅳ】



・コンクリートの
抜け落ち

8. 管理区分の考え方

対象橋梁の管理区分

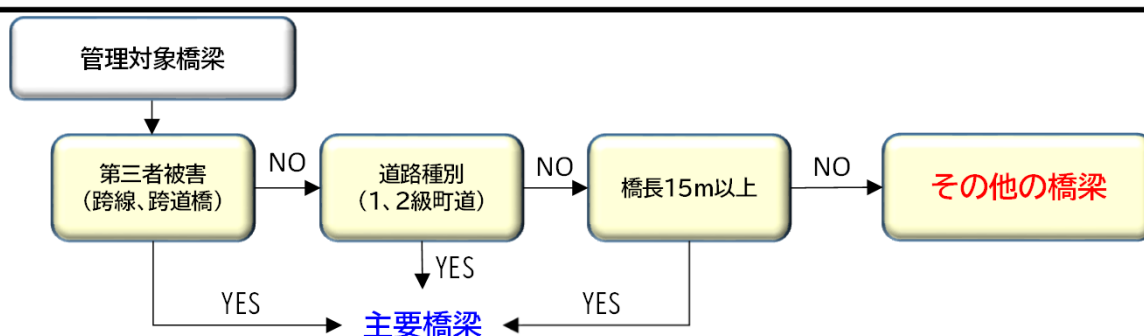
老朽化する橋梁が増大する中、一様の高いレベルでの維持管理は難しくなると想定されます。一方で、第三者被害や経済活動を阻害するような機能低下を招く事態は避けなければなりません。

また、全ての橋梁を一律同様に管理することは、架設環境の多様性を考えると、非効率となる可能性があります。

そこで、管理対象橋梁を社会的影響度（交差条件、道路種別、橋の規模など）に着目し以下の「**主要橋梁**」と「**その他の橋梁**」に分類します。

【管理区分毎の橋梁数】

管理区分	分類指標		小計
主要橋梁	第三者被害	7 橋	67 橋
	1、2級町道	48 橋	
	橋長15m以上	12 橋	
その他の橋梁	-	65 橋	65 橋
合計			132 橋



【主要橋梁】

- ・ 第三者被害 : コンクリート片などの剥離・落下による第三者被害が考えられる橋
- ・ 道路種別 : 主要路線である1級町道および2級町道
- ・ 橋長15m以上 : 仮復旧が容易では無いと考えられる橋梁

【その他の橋梁】

- ・ その他 : 主要橋梁に属さない全ての橋梁

ここに、

- 1) 1級町道 : 町内の主要部を縦横断または循環し、国道や県道と連絡する道路
- 2) 2級町道 : 町内の幹線道路網を構成し、町内集落及び他市町村と絡する道路
- 3) 橋長15m未満 : 仮復旧が比較的容易な橋梁

9. 管理水準の考え方

- ▶川崎町では、「**予防保全型**」の維持管理手法を適用し、全体的な健全性が「Ⅱ：予防保全段階」を下回らないよう、今後の維持管理に取り組みます。

【管理レベルの考え方】

予防保全型

「予防保全型」の管理水準は、損傷が小さいうちに早めの修繕を行うよう、健全性Ⅱの下限值に達した直後に設定します。

【管理水準】

健全 ↓ 劣化	Ⅰ：健全	
	Ⅱ：予防保全段階	
	Ⅲ：早期措置段階	↑ 予防保全型の管理水準
	Ⅳ：緊急措置段階	

【参考】

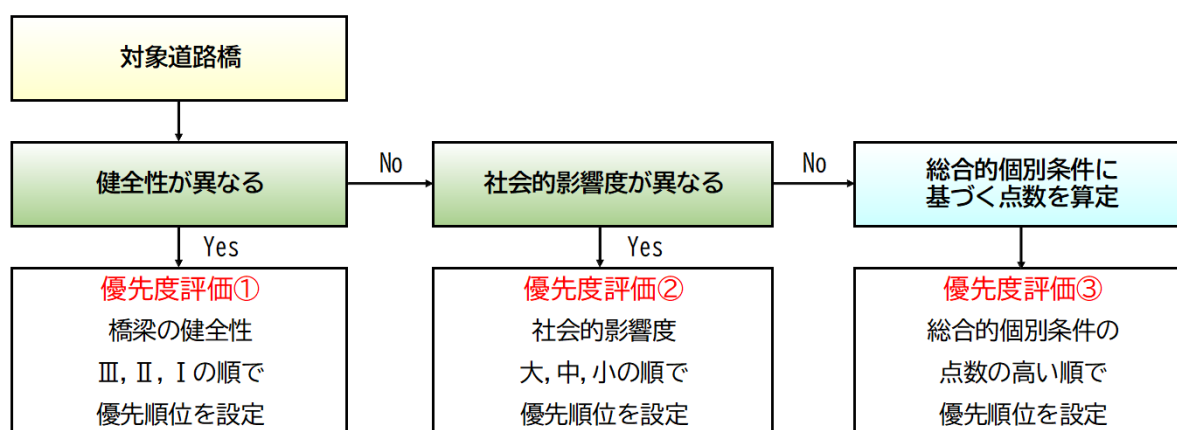
経済性を比較する際の「**事後保全型**」の管理水準は、損傷が大きくなってからの架替えを想定するため、健全性が「Ⅳ：緊急措置段階」に達した時点とします。

10. 措置優先順位の考え方

対策が必要と判断された橋梁については、健全性ランクと社会的影響度に応じた措置優先順位の設定を行います。

- ▶ 橋梁の措置優先順位は、健全性、社会的影響度、総合的個別条件を考慮して設定します。
- ▶ 措置優先順位を設定することで、単年度の修繕費が予算を超過しないよう、修繕時期の調整による予算の平準化を図ります。
- ▶ 健全性や社会的影響度の評価が同じ場合は、総合個別条件の点数の高い橋梁の措置を優先します。

【措置優先順位設定の手順】



※健全性Ⅳは、緊急措置段階ため、措置優先順位の設定から省きます。

【措置優先順位の設定例】

橋梁名	健全性	社会的影響度	総合個別点数	措置優先順位
A	Ⅲ	大	32	1
B	Ⅲ	中	28	2
C	Ⅲ	中	26	3
D	Ⅱ	中	27	4
E	Ⅱ	小	25	5
F	Ⅰ	大	24	6

※総合個別点数の算定は次頁の【総合的個別条件にもとづく算出指標】を参照。

◆措置優先順位の算出資料

【総合的個別条件にもとづく算出指標】

区分	指標	配点	判定基準	点数	摘要
① 部材健全性		50	健全性：高→	低	
② 進行リスク	経過年数 (塩害あり)	20	51年以上	20	※1 ※2 ※3
			41～50年	14	
			31～40年	8	
			21～30年	4	
			11～20年	2	
			0～10年	0	
	経過年数 (塩害なし)		51年以上	10	
			41～50年	7	
			31～40年	4	
			21～30年	2	
			11～20年	1	
			0～10年	0	
③ 第三者被害に 対する影響度	交差物件等	10	鉄道	10	※4
			道路	6	
			駐輪場等	3	
			上記以外	0	
④ 路線重要度	道路種別	5	1級、2級	5	
			その他	0	
	迂回路	5	無（L ≧ 5m）	5	※5
			無（L < 5m）	0	
			有	0	
⑤ 橋の規模	橋長	10	L ≧ 15m	10	※6
			L < 15m	5	
総合優先度の合計点 100 点					
※1 経過年数		不明な場合は、同路線の前後の橋から概ねの経過年数を推定			
※2 塩害地域		海岸部から200m以内、感潮区間、凍結防止剤散布の地域			
※3 特殊な劣化環境		科学的腐食が想定される温泉地や産炭地			
※4 駐輪場等		第三者被害が想定される駐輪場、駐車場、公園等の桁下環境			
※5 迂回路「無」		落橋時に孤立状態となる民家がある場合			
※6 橋の規模		橋長15m未満は比較的容易に復旧が可能と考える			

◆措置優先順位の算出資料

【評価点の算出方法】

$$\text{部材健全性に着目した優先度の点数} = \frac{\Sigma (\text{重み係数} \times \text{健全性の点数})}{\text{該当部材の重み係数の和}}$$

【部材の重み係数】

	対象部材	重み係数
上部工	主桁	3
	横桁	2
	床版	2
下部工	橋台、橋脚	2
支承部	支承	1
その他	高欄・地覆等	1

【部材健全性の配点】

健全性	点数
I	10
II	20
III	30

【社会的影響度に着目した橋の分類】

大	中	小
①跨道橋 ②跨線橋	①道路種別が1級または2級の町道 ②橋長 $L \geq 15\text{m}$ 程度の橋 ③迂回路無し（橋長 $L \geq 5\text{m}$ 程度） ④「社会的影響度大の橋」以外で第三者被害の影響が考えられる橋（桁下を駐輪場や駐車場および公園等に利用）	左記以外

11. 橋梁の健全性評価一覧(1/6)

			健全性		Ⅰ：健全		Ⅱ：予防保全段階		Ⅲ：早期措置段階		Ⅳ：緊急措置段階	
橋梁番号	橋梁名	道路種別	橋長 m	架設年	供用年数	最新点検年次	主な損傷状況		2019～2028年度までに 実施予定の主な対策内容			
							部位	損傷の種類				
1	畑田橋	2 級	2. 5	2015	4	H27						
2	0070-1号橋	2 級	2. 7	2015	4	H27						
3	馬小淵上橋	2 級	8	1993	26	H27						
4	1023-1橋	その他	10. 9	1991	28	H27						
5	馬小淵橋	その他	12. 2	1997	22	H27						
6	丸山橋	その他	13	1962	57	H27						
7	吉原橋	その他	9. 6	1981	38	H27						
8	1092-1号橋	その他	8	1981	38	H27						
9	119-1号橋	その他	7. 8	1985	34	H27						
10	吉原橋（2号）	その他	7. 9	1991	28	H27						
11	新吉原橋	その他	14. 5	1990	29	H27						
12	1172-1号橋	その他	7. 1	1993	26	H27						
13	黒木下橋	その他	5. 9	1998	21	H27						
14	黒木橋	その他	9. 2	1998	21	H27						
15	八熊橋	その他	14. 4	1983	36	H27						
16	馬場橋	その他	14. 1	1983	36	H27						
17	寺の谷橋	その他	13	1977	42	H27						
18	水車橋	その他	11	1981	38	H27						
19	神橋	その他	14. 7	1979	40	H27						
20	2082-1号橋	その他	8	1982	37	H27						
21	第2号橋	その他	8	1965	54	H27						
22	第3号橋	その他	8. 5	1965	54	H27	上部工	鉄筋露出 変形・欠損	ひびわれ注入、断面修復、舗装 打換、伸縮取替			
23	2082-5号橋	その他	8. 7	1982	37	H27						

11. 橋梁の健全性評価一覧(2/6)

健全性							I：健全	II：予防保全段階	III：早期措置段階	IV：緊急措置段階
橋梁番号	橋梁名	道路種別	橋長 m	架設年	供用年数	最新点検年次	主な損傷状況		2019～2028年度までに 実施予定の主な対策内容	
							部位	損傷の種類		
24	2098-1号橋	その他	7	1983	36	H27				
25	2115-1号橋	その他	7.5	1985	34	H27				
26	新屋橋	その他	9.5	2004	15	H27				
27	中村橋	1級	34.4	1993	26	H27				
28	冥加塚橋	1級	19.6	1983	36	H27	上部工	ひびわれ 鉄筋露出	ひびわれ注入、断面修復、舗装 打換、伸縮取替	
29	宮の前橋	1級	40	1977	42	H27				
30	前川原橋	1級	30.8	1995	24	H27				
31	新雁喰橋	1級	21.1	1994	25	H27				
32	真崎2号橋	1級	40.7	1998	21	H27				
33	坪池橋	2級	25.2	1997	22	H27				
34	住吉橋	2級	26.9	1987	32	H27				
35	鮎返橋	2級	27	1972	47	H27				
36	真崎橋	2級	30	1927	92	H27	上、下部工	鉄筋露出 うき	ひびわれ注入、断面修復、舗装 打換、伸縮取替	
37	柏木橋	2級	29.3	1971	48	H27	上、下部工	鉄筋露出 洗堀	更新	
38	神乃前橋	その他	17.8	1987	32	H27				
39	2号橋	その他	25	1971	48	H27				
40	新丸山橋	その他	16.5	1991	28	H27				
41	弓折陸橋	その他	17.1	1988	31	H27				
42	西田原橋	その他	43	1982	37	H27				
43	第2馬小淵橋	その他	27.7	1988	31	H27				
44	前牟田橋	その他	29.8	1982	37	H27	上部工	鉄筋露出	ひびわれ注入、断面修復、舗装 打換、伸縮取替	
45	公門橋	その他	27.7	2003	16	H27				
46	2066-1号橋	その他	19.5	1979	40	H27				

11. 橋梁の健全性評価一覧(3/6)

		健全性		Ⅰ：健全		Ⅱ：予防保全段階		Ⅲ：早期措置段階	
橋梁番号	橋梁名	道路種別	橋長 m	架設年	供用年数	最新点検年次	主な損傷状況		2019～2028年度までに 実施予定の主な対策内容
							部位	損傷の種類	
47	酒屋渡橋	その他	25.2	2000	19	H27			
48	上真崎橋	その他	31.9	1993	26	H27			
49	馬ヶ鼻橋	その他	29.8	1976	43	H27			
50	0001-1号橋	1級	3.1	1981	38	H28			
51	0001-2号橋	1級	5	1981	38	H28			
52	0003-1号橋	1級	2.3	1981	38	H28			
53	岩鼻橋	1級	4	1981	38	H28			
54	岩鼻二号橋	1級	5.1	1981	38	H28			
55	0008-1号橋	1級	3	1981	38	H28			
56	共同橋	1級	3.4	1981	38	H28			
57	吐合橋	1級	2.5	1981	38	H28			
58	0012-1号橋	1級	2.9	1981	38	H28			
59	小大山橋	1級	4	1982	37	H28			
60	13-1号橋	1級	3.5	1982	37	H28			
61	0014-1号橋	1級	2.9	1981	38	H28			
62	0014-2号橋	1級	2.5	1981	38	H28			
63	0014-3号橋	1級	2.6	1981	38	H28			
64	宮ヶ坪橋	2級	3.4	1981	38	H28			
65	松ノ木橋	2級	3	1981	38	H28			
66	土田橋	2級	2.5	1981	38	H28			
67	中田原橋	2級	3	1981	38	H28			
68	0058-1号橋	2級	2.8	1981	38	H28			
69	獅子場橋	2級	2.1	1982	37	H28			

11. 橋梁の健全性評価一覧(4/6)

健全性							I：健全	II：予防保全段階	III：早期措置段階	IV：緊急措置段階
橋梁番号	橋梁名	道路種別	橋長 m	架設年	供用年数	最新点検年次	主な損傷状況		2019～2028年度までに 実施予定の主な対策内容	
							部位	損傷の種類		
70	小松ヶ池橋	2級	4.7	1982	37	H28				
71	雀坂橋	2級	3.4	1982	37	H28				
72	浦ノ谷橋	2級	3.1	1982	37	H28				
73	0069-1号橋	2級	2.1	1981	38	H28				
74	入口橋	2級	2.3	1982	37	H28				
75	太田堰橋	2級	2.4	1981	38	H28				
76	乱橋	2級	4.6	1981	38	H28	上部工	鉄筋露出 うき	ひびわれ注入、断面修復、舗装 打換、伸縮取替	
77	0075-1号橋	2級	4.5	1981	38	H28				
78	土取橋	2級	2.5	1982	37	H28				
79	0076-1号橋	2級	4.3	1982	37	H28				
80	0076-2号橋	2級	2.1	1982	37	H28				
81	1006-1号橋	その他	2	1981	38	H28				
82	池尻橋	その他	2.6	2015	4	H28				
83	1028-2号橋	その他	4.4	1981	38	H28				
84	猪尻橋	その他	2.9	1981	38	H28				
85	1047-1号橋	その他	2.4	1981	38	H28				
86	1047-2号橋	その他	2.4	1981	38	H28				
87	1048-4号橋	その他	2.3	1982	37	H28				
88	1048-3号橋	その他	3.5	1982	37	H28				
89	1048-1号橋	その他	5.5	1982	37	H28				
90	号四郎橋	その他	3	1981	38	H28				
91	1054-1号橋	その他	6.5	1981	38	H28				
92	1063-1号橋	その他	7.5	1981	38	H28				

11. 橋梁の健全性評価一覧(5/6)

健全性							I：健全	II：予防保全段階	III：早期措置段階	IV：緊急措置段階
橋梁番号	橋梁名	道路種別	橋長 m	架設年	供用年数	最新点検年次	主な損傷状況		2019～2028年度までに 実施予定の主な対策内容	
							部位	損傷の種類		
93	寺下2号橋	その他	3	1981	38	H28				
94	劇場橋	その他	3.8	1981	38	H28				
95	1098-1号橋	その他	2	1981	38	H28				
96	公園橋	その他	5.8	1982	37	H28				
97	米田橋	その他	5.6	1984	35	H28				
98	1131-1号橋	その他	2.5	1989	30	H28				
99	1172-2号橋	その他	7	1993	26	H28				
100	2009-1号橋	その他	2	1982	37	H28				
101	樋口ノ前橋	その他	5.7	1982	37	H28				
102	2022-1号橋	その他	3.5	1982	37	H28				
103	2030-1号橋	その他	2.7	1982	37	H28				
104	2032-1号橋	その他	2.7	1981	38	H28				
105	2034-1号橋	その他	2.2	1982	37	H28				
106	三枚田橋	その他	2.4	1981	38	H28	上部工	鉄筋露出	ひびわれ注入、断面修復、舗装打換、伸縮取替	
107	古屋敷橋	その他	2.2	1981	38	H28				
108	2054-1号橋	その他	2.1	1981	38	H28				
109	下ノ丸橋	その他	5.6	1982	37	H28				
110	上ノ丸橋	その他	4.5	1982	37	H28	上部工	鉄筋露出 うき	ひびわれ注入、断面修復、舗装打換、伸縮取替	
111	2060-1号橋	その他	2.8	1981	38	H28				
112	2078-1号橋	その他	2.2	1981	38	H28	上部工	鉄筋露出	ひびわれ注入、断面修復、舗装打換、伸縮取替	
113	扇ノ前橋	1級	4	1981	38	H29				
114	0003-3号橋	1級	2.3	1981	38	H29				
115	永井村下橋	2級	3	2016	3	H29				

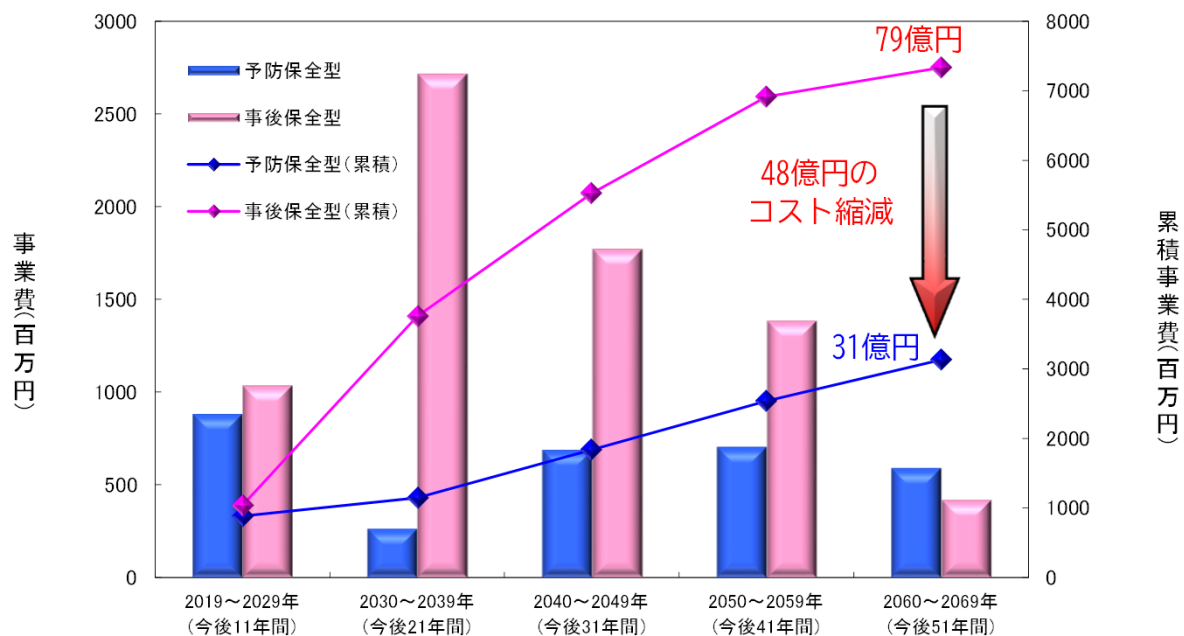
11. 橋梁の健全性評価一覧(6/6)

		健全性		Ⅰ：健全		Ⅱ：予防保全段階		Ⅲ：早期措置段階	
橋梁番号	橋梁名	道路種別	橋長 m	架設年	供用年数	最新点検年次	主な損傷状況		2019～2028年度までに 実施予定の主な対策内容
							部位	損傷の種類	
116	0073-1号橋	2級	2	1981	38	H29			
117	1034-1号橋	その他	3.5	1981	38	H29			
118	1043-1号橋	その他	2.5	1981	38	H29			
119	雁喰橋	その他	11.9	1960	59	H29			
120	八反田橋	その他	3.3	1981	38	H29			
121	奥谷橋	その他	3.1	1981	38	H29			
122	1079-1号橋	その他	3.2	1981	38	H29			
123	法印橋	その他	4.4	1981	38	H29			
124	東川橋	その他	2.6	1981	38	H29			
125	朝倉橋	その他	4.6	1981	38	H29			
126	原橋	その他	5.9	1981	38	H29			
127	第4号橋	その他	5.7	1967	52	H29			
128	2106-1号橋	その他	5.2	1985	34	H29			
129	柿添橋	その他	32.9	1993	26	H29			
130	今地橋	その他	2.2	1993	26	H29			
131	川崎大橋	その他	249	2002	17	H29			
132	藤枝橋	その他	9.3	1991	28	H29			

12. 個別施設計画（橋梁）による効果

- ▶ 個別施設計画（橋梁）を策定した橋梁は、計画的かつ予防的な修繕対策により、概ね100年以上を目標とした長寿命化が見込まれます。
- ▶ 修繕計画対象橋梁の計132橋について今後50年間の事業費を比較すると、従来の事後保全型は79億円、予防保全型は31億円となり、コストの縮減効果は48億円となります。
また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性や信頼性が確保されます。

【今後50年間の事業費の推移】



13. 計画策定部署および意見聴取した学識経験者等

- ▶個別施設計画（橋梁）の策定に際し、有識者の有益なご助言を得る場として、「学識経験者の意見聴取」の場を設けました。
- ▶橋梁修繕計画における課題や問題点などを挙げ、効果的な取組体制を築くための議論を行いました。

1) 計画策定担当部署

福岡県田川郡川崎町役場 建設課

電話番号 0947-72-3000

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

九州工業大学 大学院 工学研究院 建設社会工学研究系 山口栄輝 教授



【意見聴取風景】



【現場指導風景】

◆参考文献

- ①（財）福岡県建設技術情報センター
 - ・市町村における個別施設計画（橋梁）策定の手引き（案）平成29年3月
 - ・管理者のための橋梁点検の手引き（案）平成29年3月
- ②国土交通省道路局国道防・防災課
 - ・橋梁定期点検要領 平成26年6月
- ③福岡県県土整備部道路維持課
 - ・橋梁定期点検要領 平成27年3月